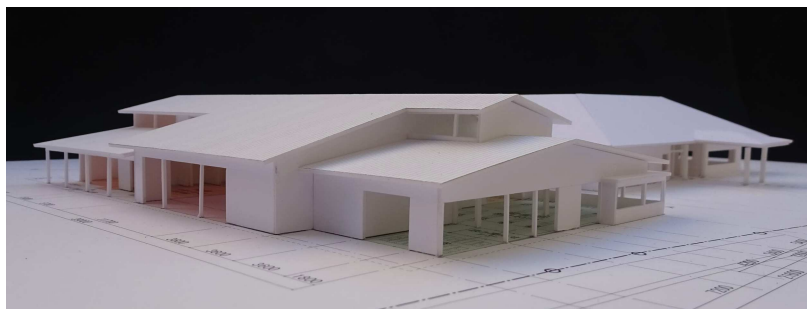


基本設計のベースとなる考え方について、 参加者から概ねの合意が得られました！

計画策定作業は、5回目までの市民ワークショップでの議論を基に取りまとめた基本計画の考え方を、より具体的な形にまとめていく基本設計段階に取り掛かっています。第6回のワークショップでは、基本計画に対してパブリックコメントや住民説明会で出された意見、及び、基本計画策定後に、市より追加された条件（児童クラブを複合する）などを踏まえて、既存の保健福祉センターを改修する部分と、増築する部分とにどのような機能を配置したらいいのか、計画チームより3つの考え方が提示されました。それぞれの考え方を全体で議論した結果、既存部分に、総合支所、公民館諸室と商工会、シルバー人材センター、森林組合、などの民間施設を複合し、増築部に、児童クラブ、子育て広場、多目的ホール、図書館を複合させ、子ども、子育て関連の施設を充実させる考え方が、多くの支持を集めました。既存部と増築部は、公民館・図書館事務室でつなぎ、全体が一体的な施設として有機的につながります。この考え方をベースに、基本設計の精度を上げていく予定です。



第6回市民ワークショップでは30名の市民により、基本計画素案に対しての意見やこれからの計画を進める中で大切にしなければならないことなどが議論されました。

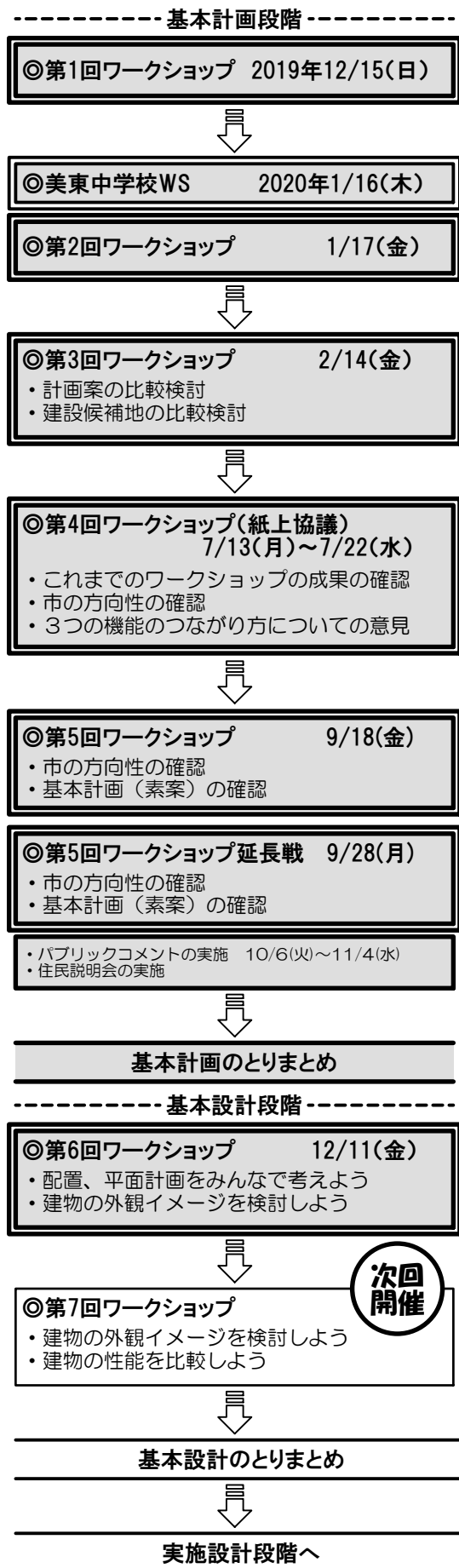


事務局より基本設計素案をベースとしたイメージ模型が提示されました。

第6回市民ワークショップ プログラム

- ステップ1** はじめに
- ステップ2** 第6回市民ワークショップの目的と流れを説明
- ステップ3** 基本計画について確認します
- ステップ4** 基本計画に対して、住民説明会、パブリックコメントで出された意見を確認します
- ステップ5** 基本計画後に追加された条件などを反映してまとめた3つの「基本設計素案」について説明します
- ステップ6** 素案に対して、全体で意見を出し合い、議論します
基本設計のベースになる案としてどの考え方が良いかについて議論し、考え方を共有します
- ステップ7** まとめ

みんなで考える新しい拠点づくりの流れ



次回
開催

**基本設計案を基に
様々な視点から議論を行いました**

Legend:

- : 児童クラブに通う児童の動線 (Children's Club access route)
- ↔ : 空間のつながり (Spatial connection)
- 赤文字 : 市民から出た検討課題 (Issues raised by citizens)

Design Points and Comments:

- ・バリアフリーを徹底してほしい (We want to thoroughly implement barrier-free).
- ・日当たりが良く、風が抜けて子ども達がのびのびできそう (Good sunlight and wind so children can thrive).
- ・手洗いスペースを設けてほしい (We want to set up handwashing space).
- ・湯沸かしスペースが欲しい (We want a hot water space).
- ・子どもがすぐに手を洗えるようにしてほしい (We want children to be able to wash their hands immediately).
- ・利用者がバッティングしないように工夫が必要 (It is necessary to devise ways to prevent users from bumping into each other).
- ・外の手洗いがあるといいかも (Maybe having outdoor handwashing would be good).
- ・キッズテラスでいろいろなことができそう (I think I can do many things at the Kids Terrace).
- ・グラウンドに近く子ども達の遊び場になりそう (It seems like it will become a playground for children near the ground).
- ・水害時に重要書類やサーバーが濡れないようにした方がよい (It would be better to prevent important documents and servers from getting wet during floods).
- ・図書館から少し遠い気がする (It feels a bit far from the library).
- ・外で本を読むことができればいいかも (It might be nice if we could read books outside).
- ・子ども達が安心して使える学習室としてほしい (We want to use the study room as a place where children can feel safe and use it).
- ・子どもたちの遊び場として利用できるので、壁は頑丈な仕上げとしてほしい (Since it can be used as a playground for children, we want sturdy finishing for the walls).
- ・集団検診などに対応できるようにした方がよい (It would be better to be able to handle group checkups, etc.).

- ・ 建物の利用ルールづくりに住民たちも関わっていきたい。
- ・ 多目的ホール、図書館、児童クラブについては、興味がある人で、部門ごとにチームをつくって、建物の詳細な部分のつくり方、運営方法などを議論を進めていってもいいのではないかな。
- ・ 現在の図書館は図書館司書が配置されていないため、新しい図書館ができたときは、本の選び方などを相談するにはどのようにしたらよいか。
- ・ 住民がボランティアでお手伝いができる仕組みにしてほしい。
- ・ 児童クラブでの図書館や多目的ホールの利用方法については子供たちと話し合ってルールづくりを決めていきたい。

平面図や模型を基に、具体的な新しい施設のイメージをみんなで共有しました。

○光と風がたくさん入るさりやか建物。重複利用で全
館使われていく、中の方の建物を折って合せていくために利用者を
が関わっている、だきね、有意義なことをしている、考える方
育ても素敵でつづいていく、建物に負けない地域住民のネッ
ワークをつくっていく、建物にとが大切ですね。

○子供達の未来が楽しみになるステキな設計案だったと思います。市民として今までも利用したことがなかったく施設でしたが、みんなが集まる場所として利用したくなりまいした。図書館の利用方法ももう少し検討が必要だと思いまして。学習室のスペースのとりかたは、安心して利用できるスペースになるとよいと思います。ありがとうございます。

○基本設計でD案が承認された。D案を元に図書館、公民館、児童クラブなど施設ごとにプロジェクトチームを組織して、どのような運営をするか、どのような構造にするかなど詰めるようにしたいと思う。

今後も市民ワークショップを予定しておりますので、市民の皆さまのご理解とご協力をお願い致します。

○お問い合わせ先: 美祿市美東総合支所 総合窓口課 〒754-0291 美祿市美東町大田5936番地
TEL: 08396-2-5000 FAX: 08396-25111 E-mail: m-sogomadoguchi@city.mine.lg.jp

基本計画・基本設計策定業務受託事務所
株式会社 龍環境計画 TEL: 03-3383-8673